福井県内企業景気動向調査　調査結果

（2022年1～3月　当期（実　績））
（2022年4～6月　次期（見通し））

株式会社　福井銀行
株式会社　福井キャピタル＆コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、 景気動向（県内企業の現在の経営環境や今後の見通し）について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

- 調査対象企業　福井県内の企業　1,353社
- 回答企業　311社（回答率23.0%）
- 調査時期　2022年3月初旬

【ＤＩ調査について】

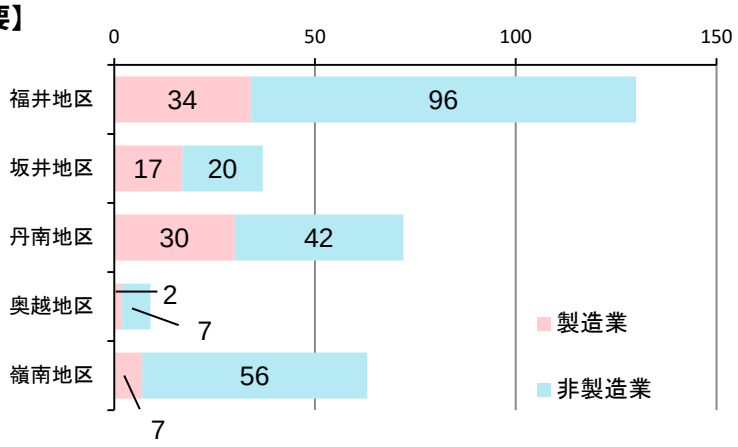
このアンケート調査では、ＤＩ(Diffusion Index)による分析を行っております。ＤＩは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。 景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。

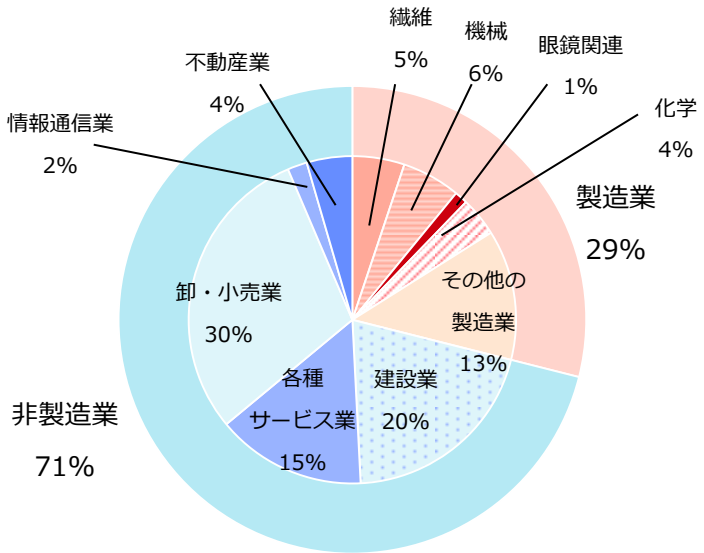
※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【特別調査について】

今回は、事業承継に関する状況調査を行っております。 ご参照の上、お役立ていただければ幸甚です。

【回答企業の概要】





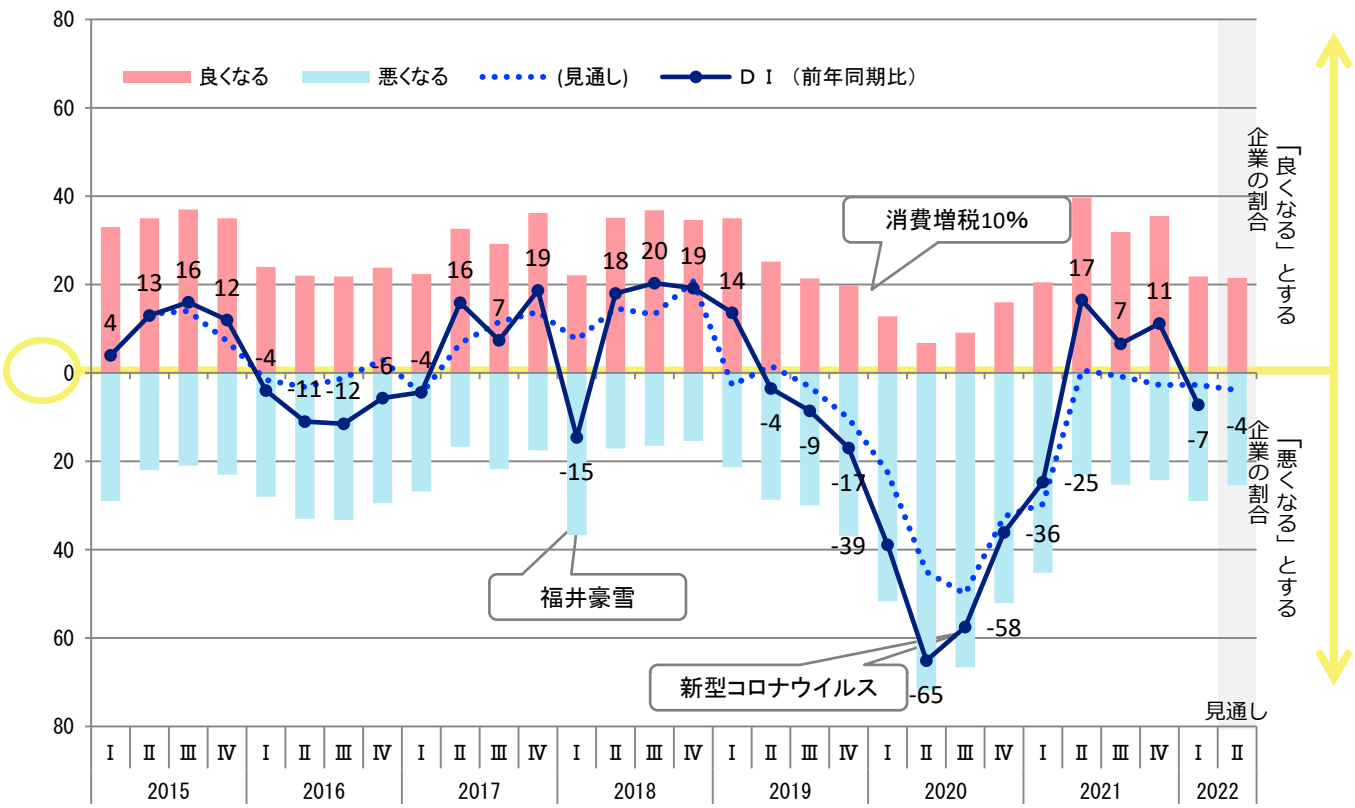
オミクロン株感染の急拡大や、混迷するウクライナ情勢の世界経済への影響により景況判断は大幅に低下。

全体の景況判断は、オミクロン株感染の急拡大による経済活動の停滞や、ウクライナ情勢など混迷する世界情勢によるエネルギー価格の高騰などの影響により、業況判断ＤＩは前回調査のプラス１１から大幅に低下しマイナス７となり、マイナス圏に転じた。前回予想のマイナス２を下回った。また、来期はマイナス４を予想し、先行きの見通しは不透明で、マイナス圏に留まる見通しである。

製造業、非製造業を問わず、原材料(仕入・資材)価格が高い水準で推移しており、製(商)品販売価格も上昇しているもののその水準に及ばない傾向となり、原材料(仕入・資材)価格の高騰を製(商)品販売価格に転嫁できていない傾向がうかがえる。来期も原材料(仕入・資材)価格は高い水準で推移する見通しであり、収益を圧迫する状況が続くものと予想される。

個別企業のコメントでは、前回に引き続き新型コロナウィルスによる社会や経済への影響を懸念する意見や、原材料（仕入・資材）価格の高騰や品不足を懸念する意見、ウクライナ情勢の影響を懸念する意見がが多く見られた。

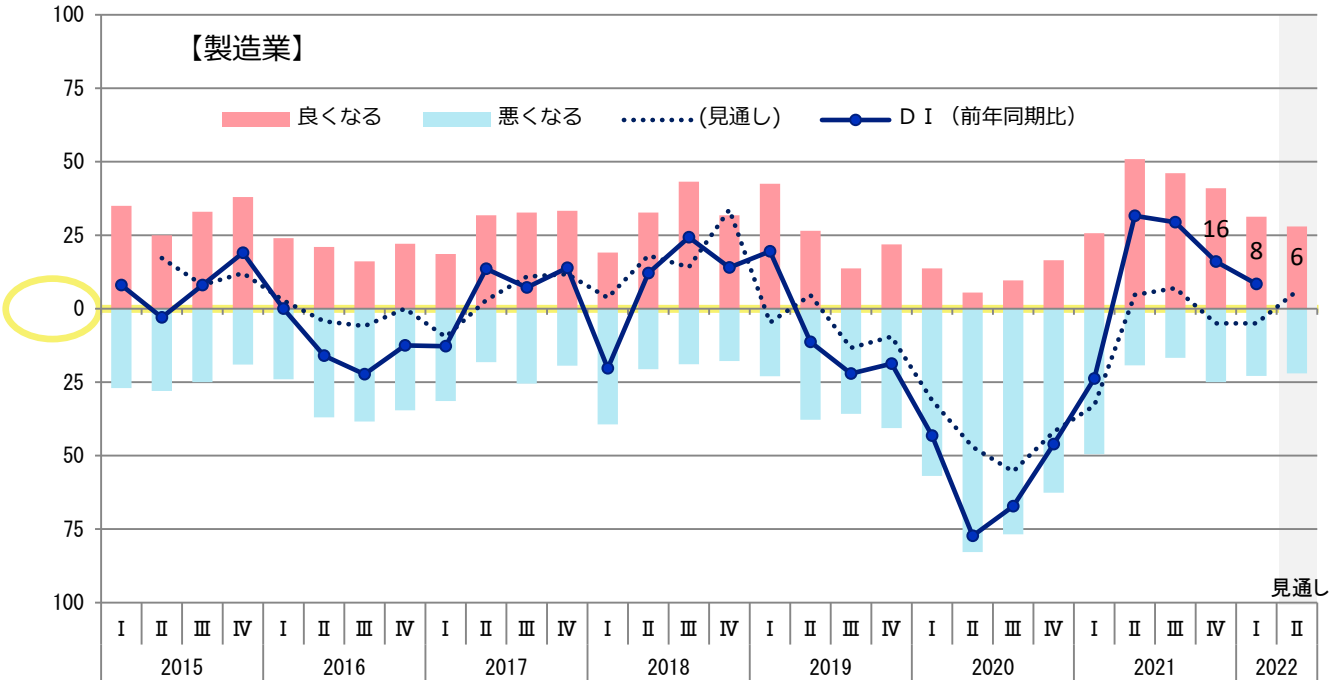
●自社の業況判断ＤＩの推移



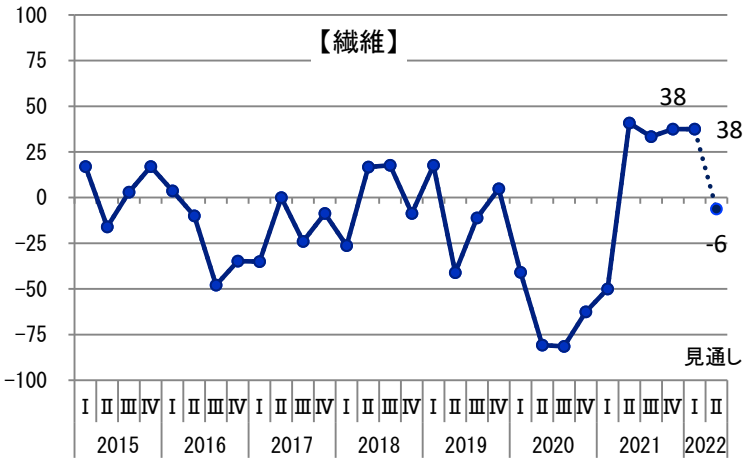
Ⅰ：1～3月期　Ⅱ：4～6月期　Ⅲ：7～9月期　Ⅳ：10～12月期

業況　【製造業】①

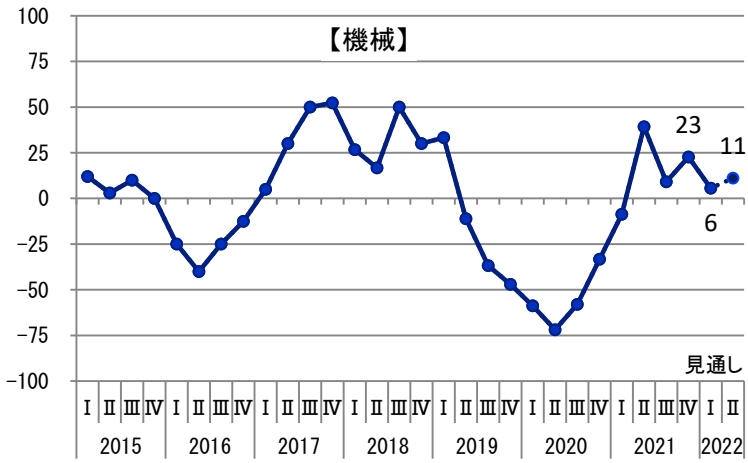
良くなる－悪くなる



- 製造業の業況判断ＤＩは、前回調査のプラス１６から低下したもののプラス８となり、4四半期連続でプラス圏を維持した。
- 先行きは、やや低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。



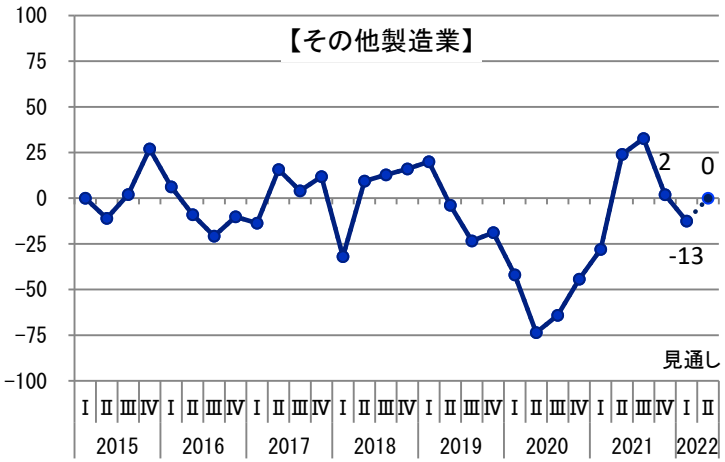
- 繊維は、前回調査のプラス38から横ばいのプラス38となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。



- 機械は、前回調査のプラス23から大幅に低下したもののプラス6となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

- 眼鏡は、前回調査のプラス60から大幅に上昇しプラス100となり、プラス幅を広げた。
- 先行きは、横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

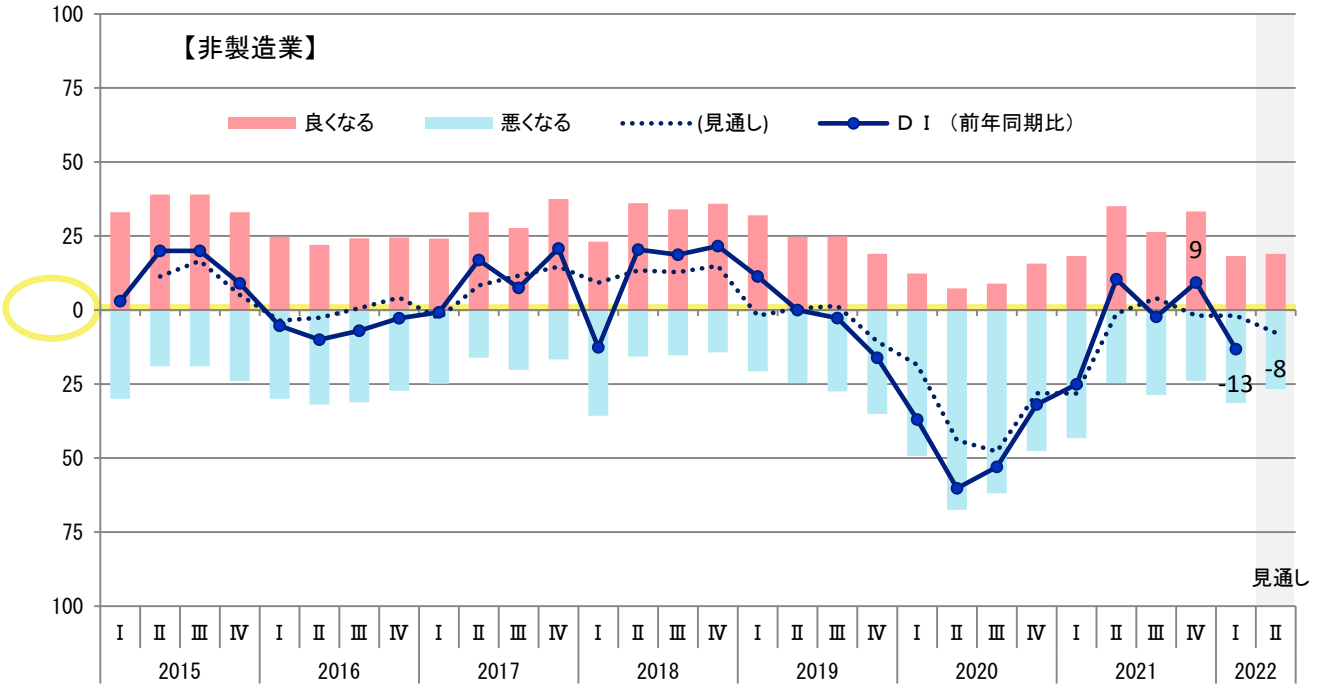
- 化学は、前回調査のプラス25から大幅に低下したもののプラス8となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、低下を予想しプラスマイナス0となる通しである。



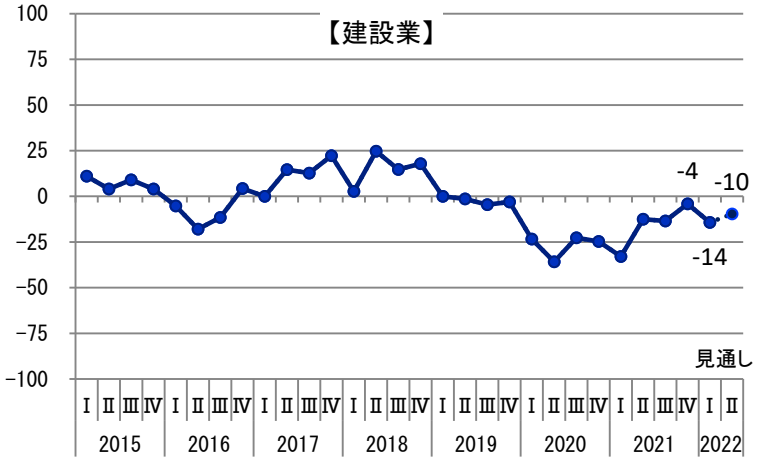
- その他製造業は、前回調査のプラス2から低下しマイナス13となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、上昇を予想しプラスマイナス０となる見通しである。

業況　【非製造業】①

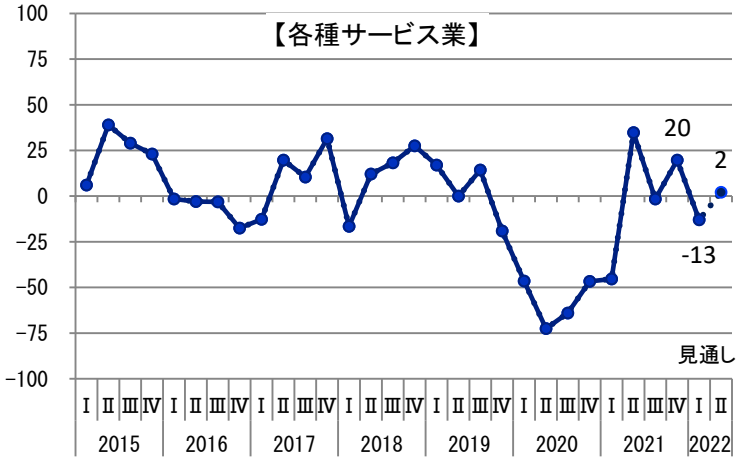
良くなる－悪くなる



- 非製造業の業況判断ＤＩは、前回調査のプラス９から大幅に低下しマイナス１３となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。



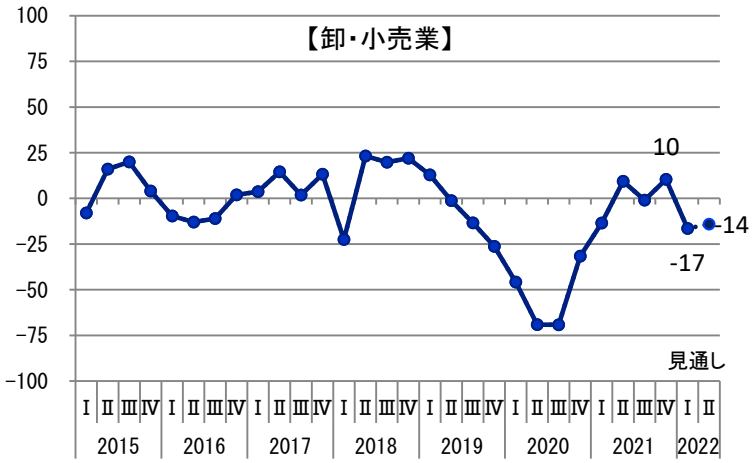
- 建設業は、前回調査のマイナス4から低下しマイナス14となり、マイナス幅を広げた。
- 先行きは、上昇を予想するもののマイナス圏にとどまる見通しである。



- 各種サービス業は、前回調査のプラス20から大幅に低下しマイナス13となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

業況 【非製造業】②

良くなる―悪くなる



- 卸・小売業は、前回調査のプラス10から大幅に低下しマイナス17となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、やや上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。

- 情報通信業は、前回調査のプラス50から大幅に低下しプラスマイナス0となった。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

- 不動産業は、前回調査のプラス11から低下したもののプラス７となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

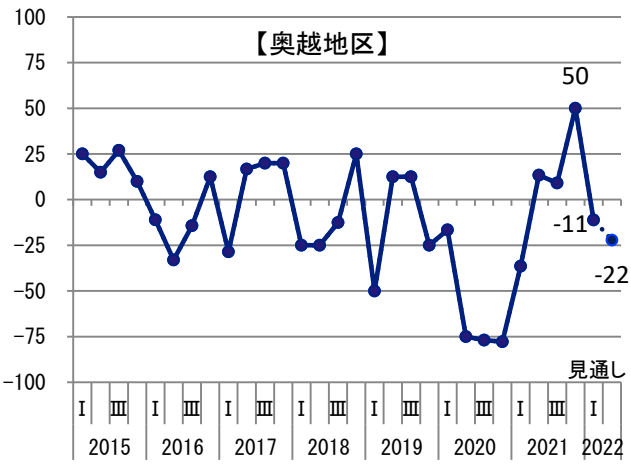
業況 【地域】

良くなる―悪くなる

- 福井地区は、前回調査のプラス16から大幅に低下しマイナス9となり、マイナス圏似て転じた。
- 先行きは、低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

- 坂井地区は、前回調査のプラス24から低下したもののプラス14となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、大幅な低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

- 丹南地区は、前回調査のプラス17から大幅に低下したもののプラス1となり、プラス圏を維持した。
- 先行きは、上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

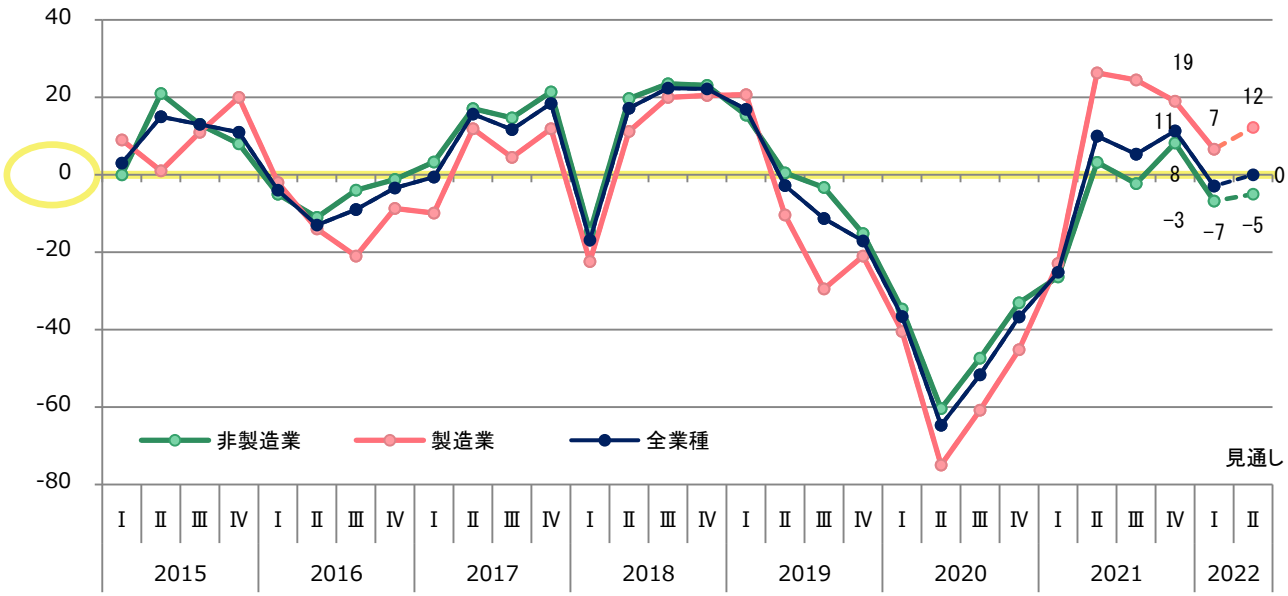


- 奥越地区は、前回調査のプラス50から大幅に低下しマイナス11となり、マイナス圏に転じた。
- 先行きは、低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

- 嶺南地区は、前回調査のマイナス15から低下しマイナス24となり、マイナス幅を広げた。
- 先行きは、大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。

売上(工事)高

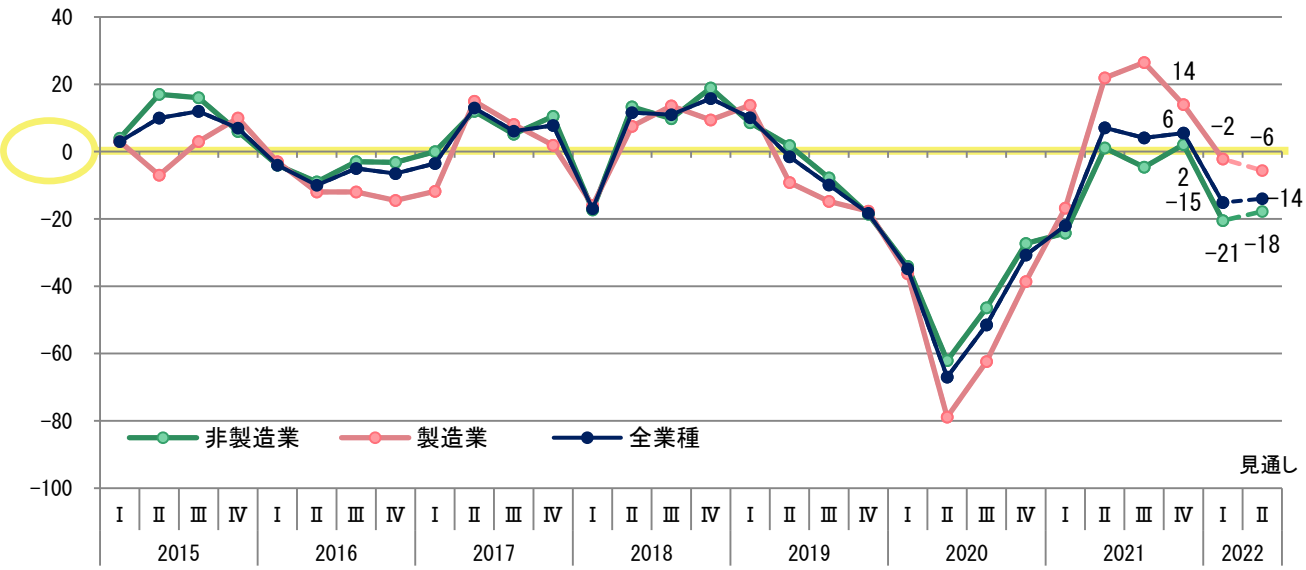
増加する―減少する



- 売上（工事）高ＤＩは、前回調査のプラス11から低下しマイナス3となり、マイナス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から大幅に低下しマイナス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通し。非製造業はやや上昇を予想するもののマイナス圏にとどまる見通しである。

収益状況

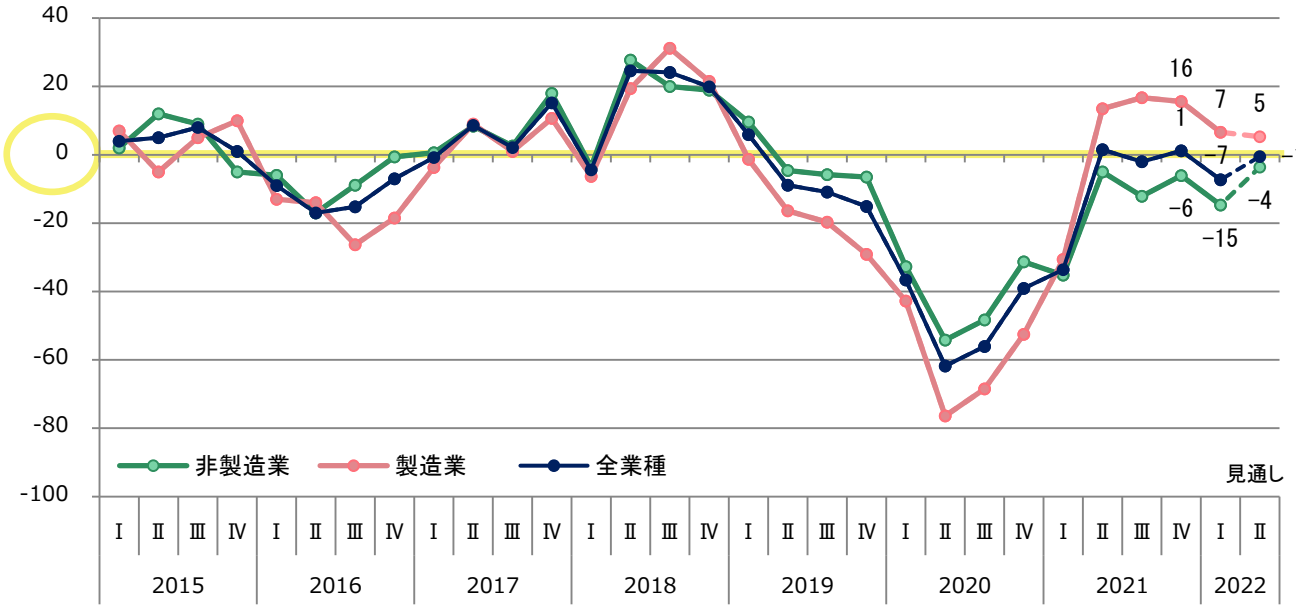
良くなる―悪くなる



- 収益状況ＤＩは、前回調査のプラス６からやや大幅に低下しマイナス15となり、マイナス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業非製造業ともに前回調査から大幅に低下しマイナス圏に転じた。
- 先行きは、製造業は低下を予想しマイナス幅を広げる見通し。非製造業は上昇を予想するもののマイナス圏にとどまる見通しである。

受注残高

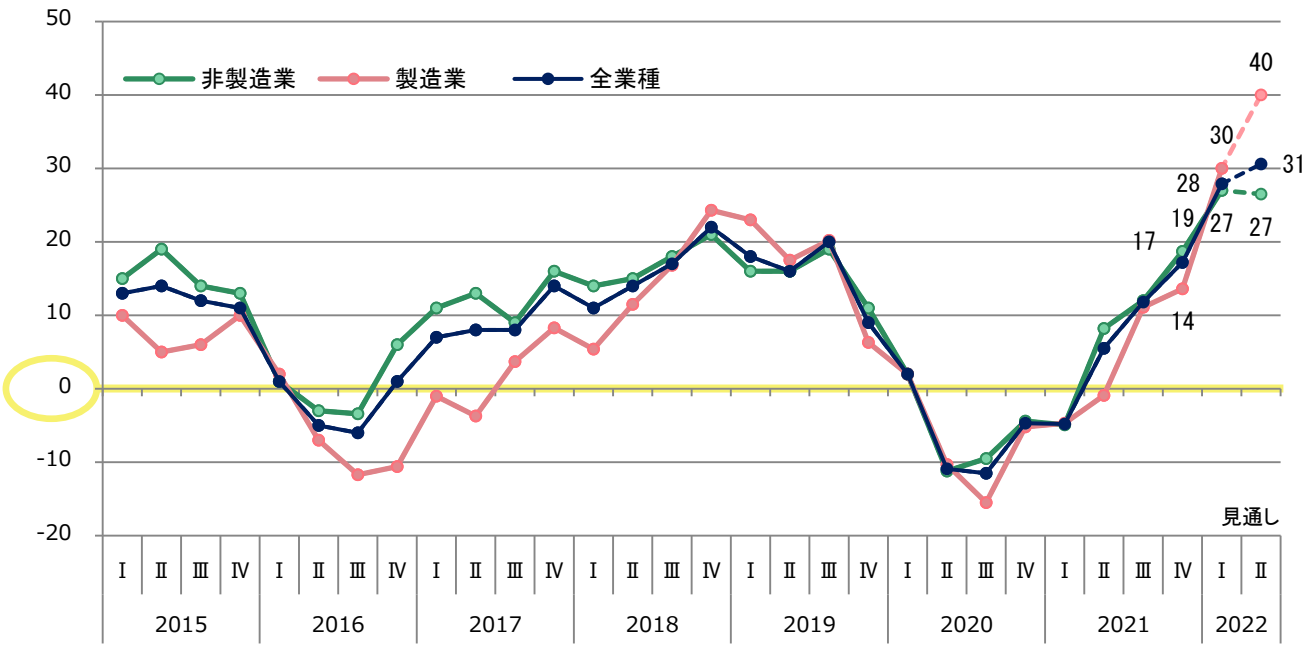
多い－少ない



- 受注残高ＤＩは、前回調査のプラス１から低下しマイナス7となりとなり、マイナス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。非製造業は前回調査から低下しマイナス幅を広げた。
- 先行きは、製造業はやや低下を予想するもののプラス圏を維持する見通し。非製造業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通しである。

製(商)品販売価格

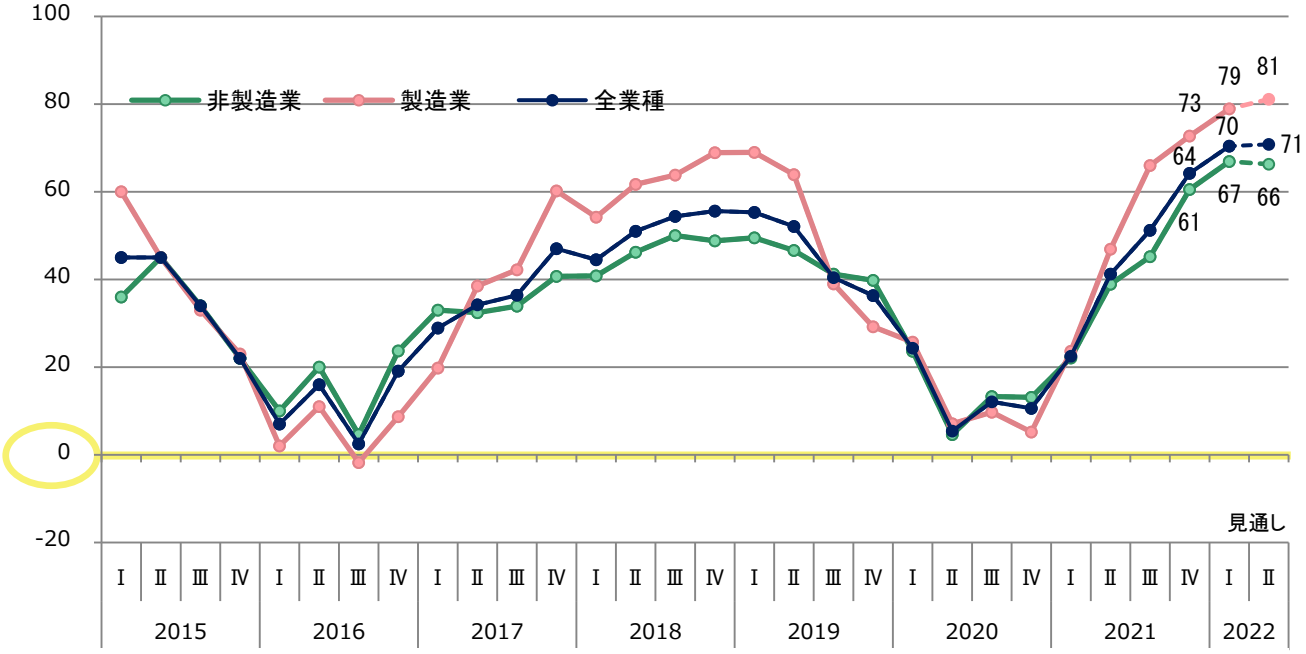
上昇－低下



- 製（商）品販売価格ＤＩは、前回調査のプラス17から上昇しプラス28となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇しプラス幅を広げた。非製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通し。非製造業は横ばいを予想しプラス圏を維持する見通しである。

原材料（仕入・資材）価格

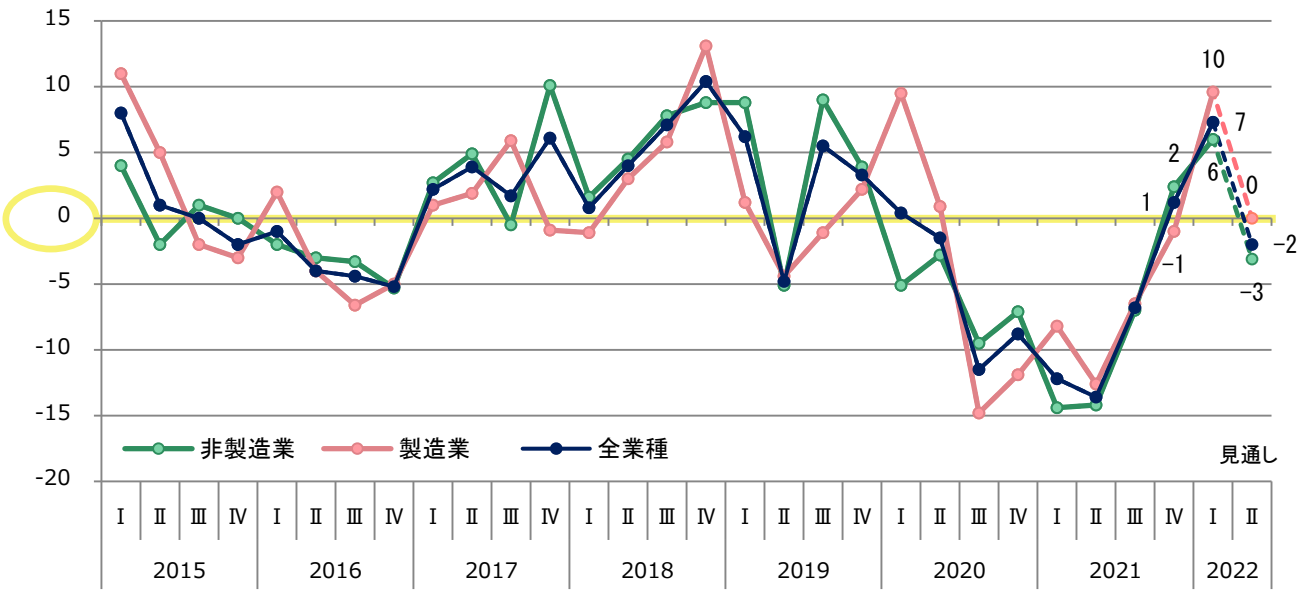
上昇―低下



- 原材料（仕入・資材）価格ＤＩは、前回調査のプラス64から上昇しプラス70となり、依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに上昇し依然として高い水準でプラス圏に留まった。
- 先行きは、製造業はやや上昇を予想し依然として高い水準でプラス圏に留まる見通し。非製造業はほぼ横ばいを予想し依然として高い水準でプラス圏に留まる見通しである。

在庫

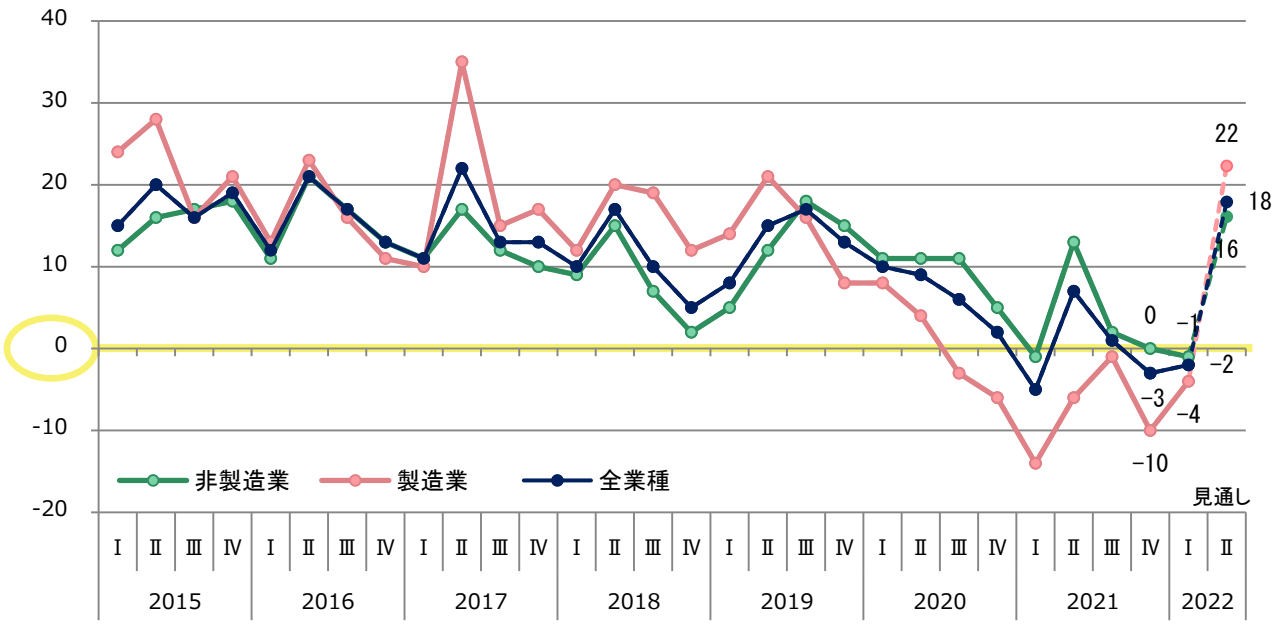
多い―少ない



- 在庫ＤＩは、前回調査のプラス1から上昇しプラス7となり、プラス幅を広げた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇しプラス圏に転じた。非製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業は低下を予想しプラスマイナス０となる見通し。非製造業は低下を予想しマイナス圏に転じる見通しである。

雇用者数

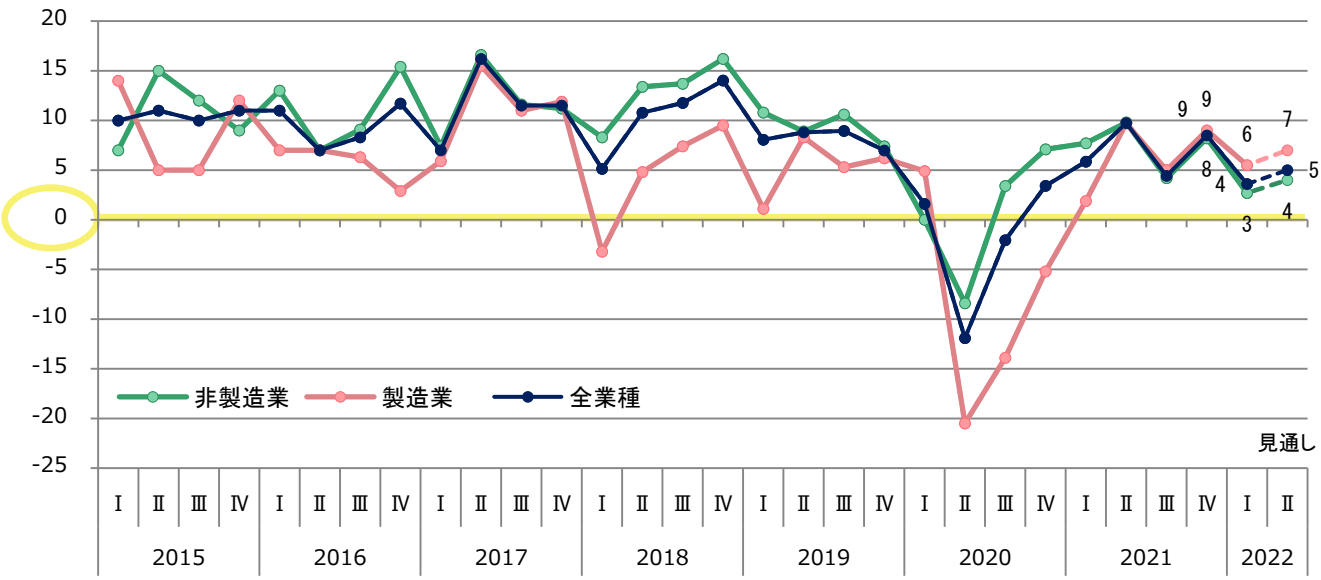
増員－減員



- 雇用者数ＤＩは、前回調査のマイナス3からややほぼ横ばいのマイナス2となり、マイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査からほぼ横ばいのマイナス1となりマイナス圏に転じた。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに大幅な上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

資金繰り

容易－困難



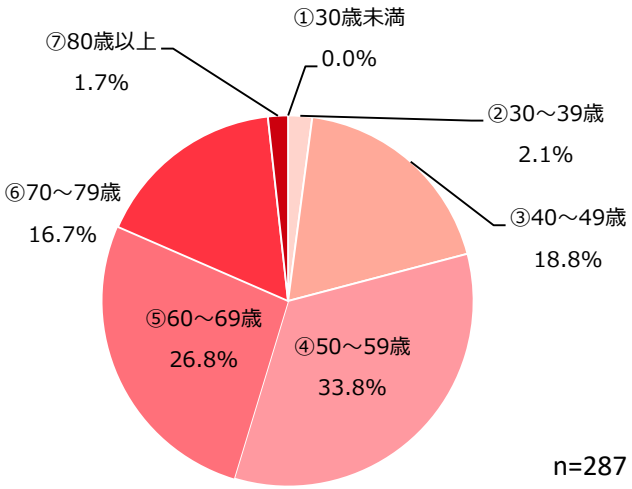
- 資金繰りＤＩは、前回調査のプラス9から低下したもののプラス4となり、プラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともには前回調査から低下したもののプラス圏を維持した。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに上昇を予想しプラス幅を広げるする見通しである。

事業承継について ①

●経営者（代表者）の年齢

（単一回答）

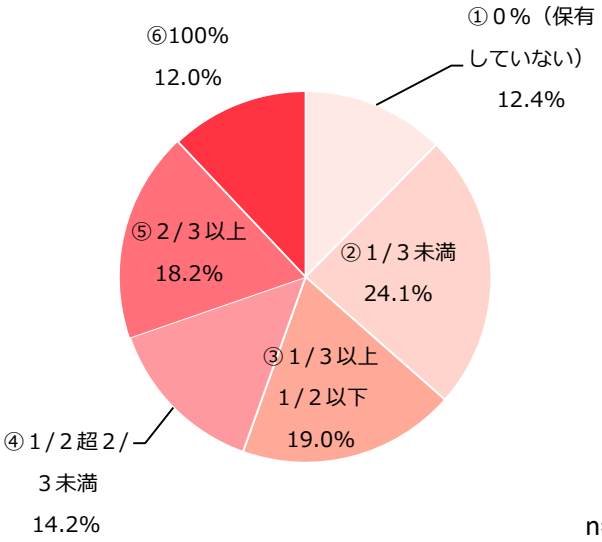
n：有効回答数



n=287

●経営者（代表者）が保有する自社株式の持株比率

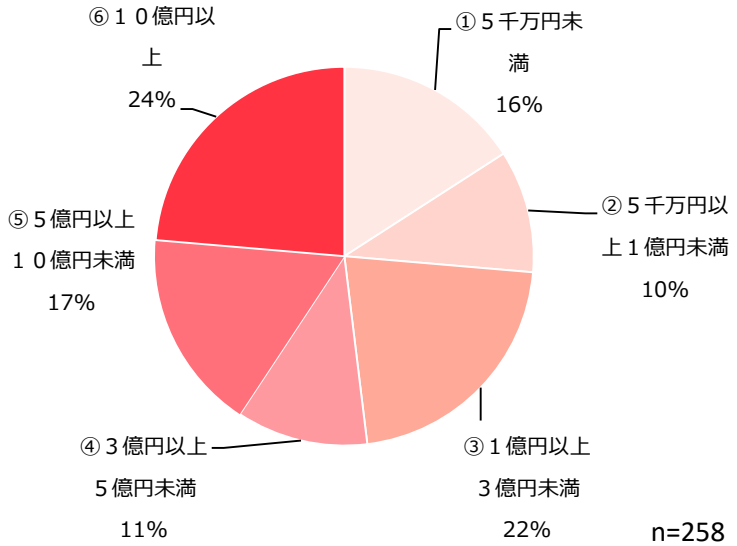
（単一回答）



n=274

●簿価純資産額

（単一回答）



n=258

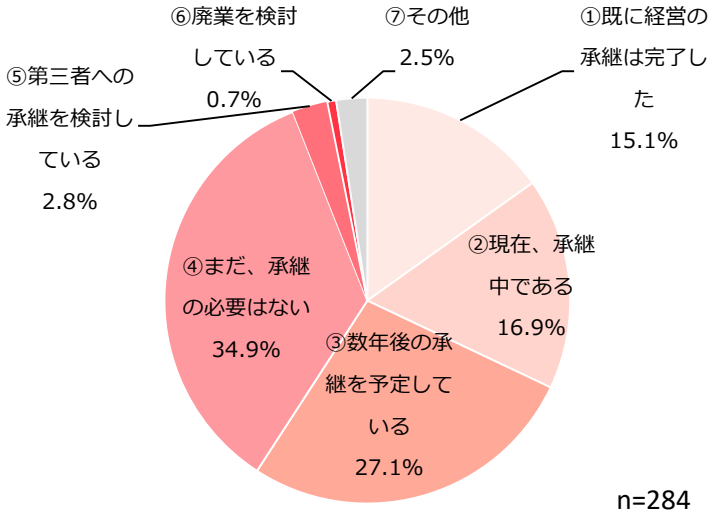
事業承継について ②

●事業承継の現況について （単一回答）

◆「まだ、承継の必要はない」が34.9%と最も多い。

次いで「数年後の承継を予定している」27.1%、「現在、承継中である」16.9%、「すでに経営の承継は完了した」15.1%の順に多い結果となった。全体では59.1%が承継に取り組んでいる結果となった。

n：有効回答数



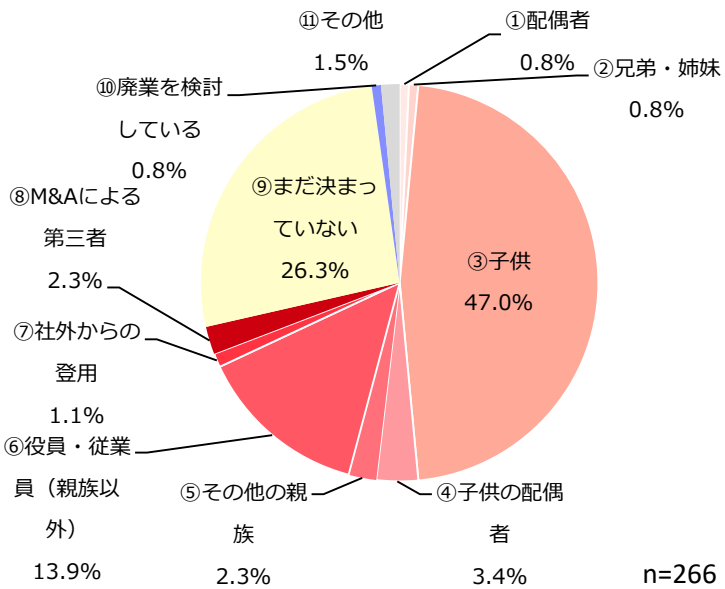
n=284

●後継者（または候補者）との関係性について （単一回答）

◆「子供」が47.0%と最も多い。

次いで「役員・従業員(親族以外）」13.9%、「M&Aによる第三者」は2.3%の順に多い結果となった。

後継者(または候補者)が「まだ決まっていない」は26.4%となった。



n=266

事業承継について③

●事業承継の課題について

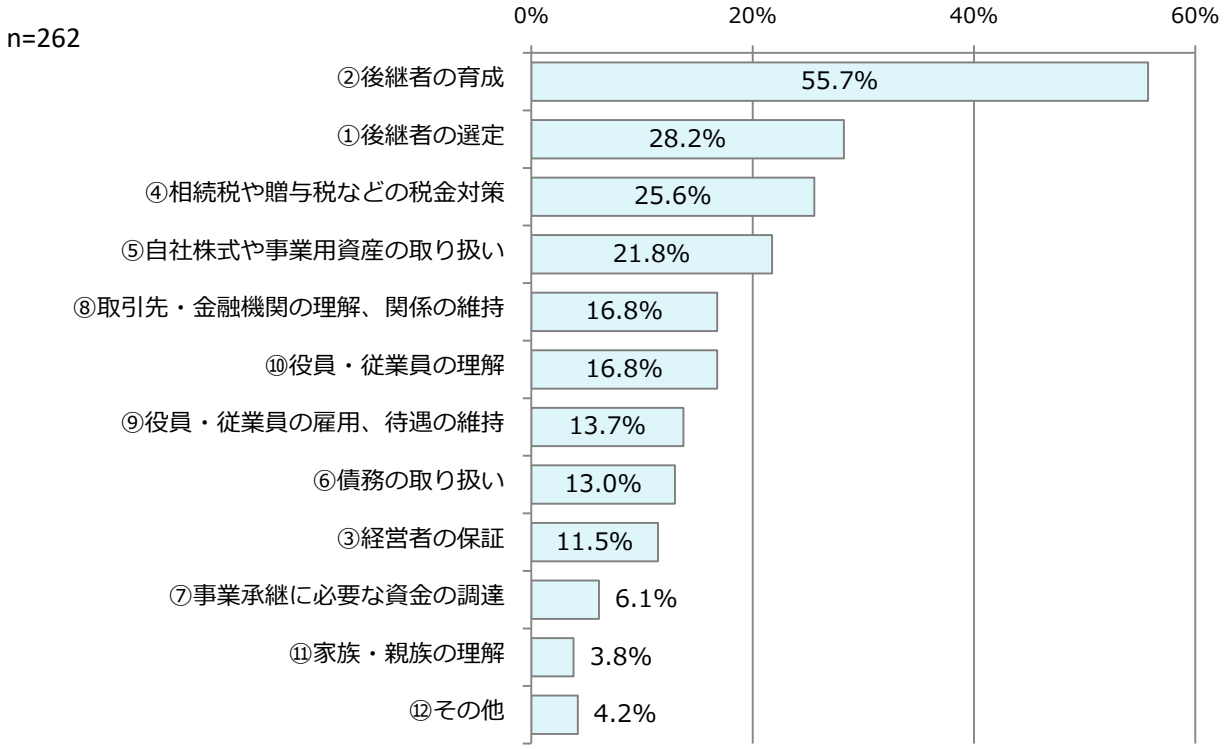
（複数回答）

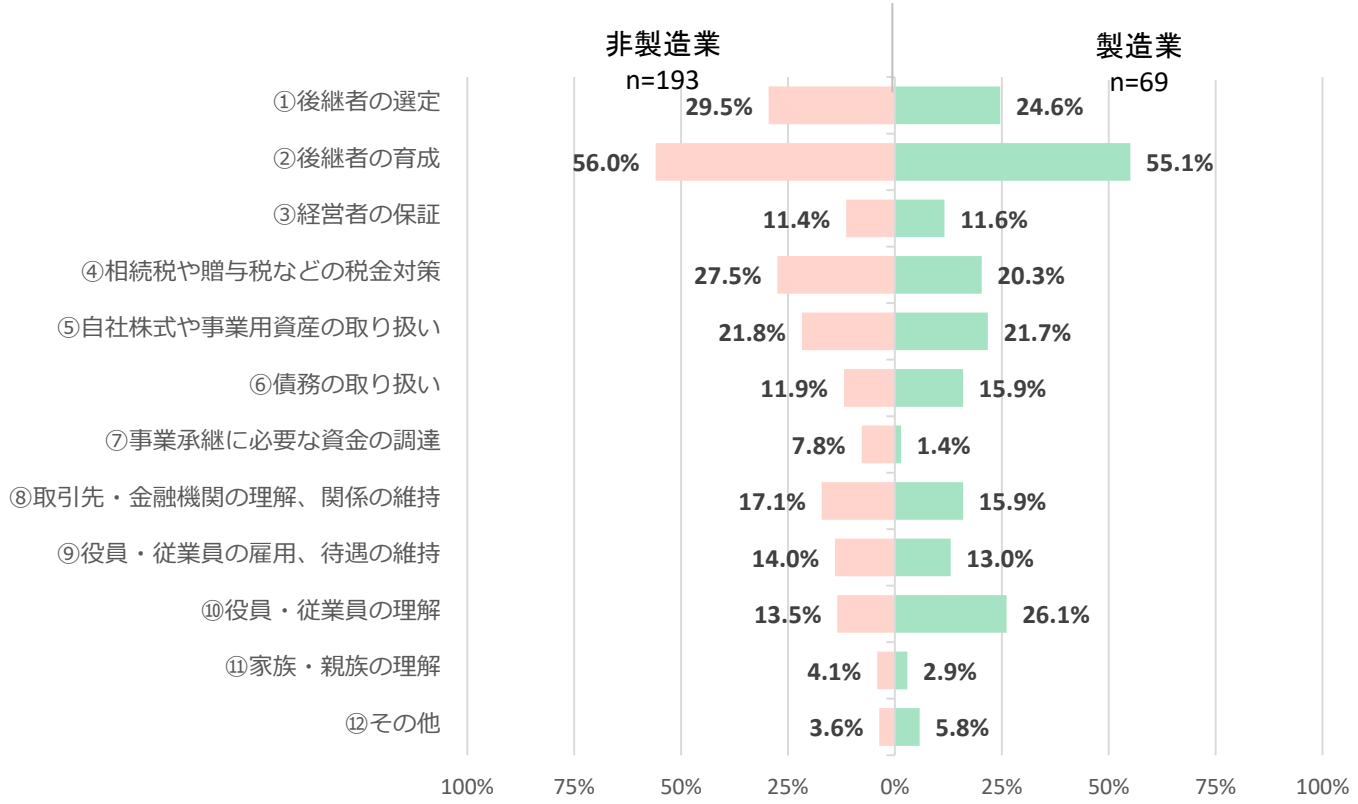
n：有効回答数

◆全業種で「後継者の育成」が55.7%と最も多い。

製造業は「後継者の育成」55.1%、「役員・従業員の理解」26.1%の順で多い結果となった。

非製造業は「後継者の育成」56.0%、「後継者の選定」29.5%の順で多い結果となった。





事業承継について④

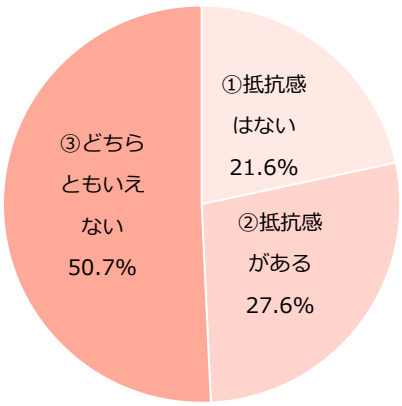
●M&Aによる事業承継について　（単一回答）

◆「どちらともいえない」が50.7%と半数を占め、最も多い。

次いで「抵抗感がある」27.6%、「抵抗感がない」21.6%の結果となった。

M&Aによる事業承継については「抵抗感がある」が「抵抗感がない」を上回る結果となった。

n：有効回答数

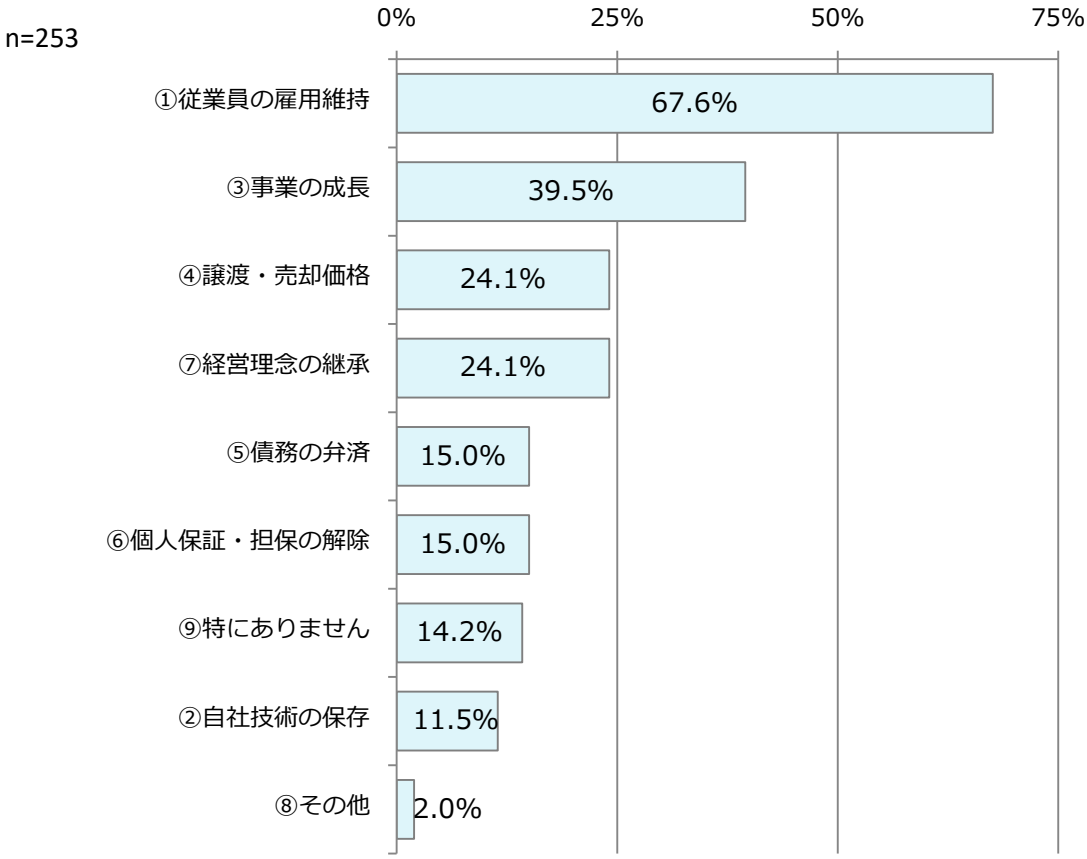


n=266

●M&Aによる事業承継で重視する／したことについて　（複数回答）

◆「従業員の雇用維持」が67.6%と最も多い。

次いで「事業の成長」39.5%、「譲渡・売却価格」「経営理念の継承」24.1%の順で多い結果となった。



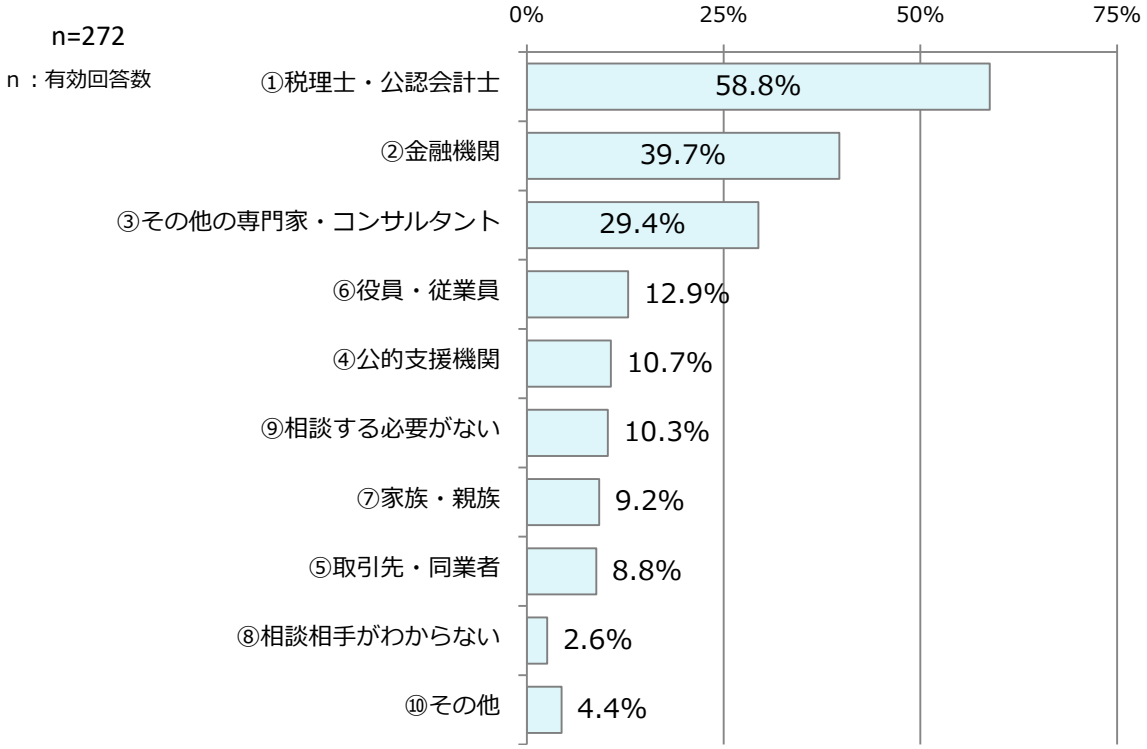
事業承継について⑤

●事業承継に関する相談相手について　(複数回答)

◆「税理士・公認会計士」が58.8%と最も多い。

次いで「金融機関」39.7%、「その他の専門家・コンサルタント」29.4%の順で多い結果となった。

一方、社内の相談相手としては、「役員・従業員」12.9%、「家族・親族」9.2%の順で多い結果となった。

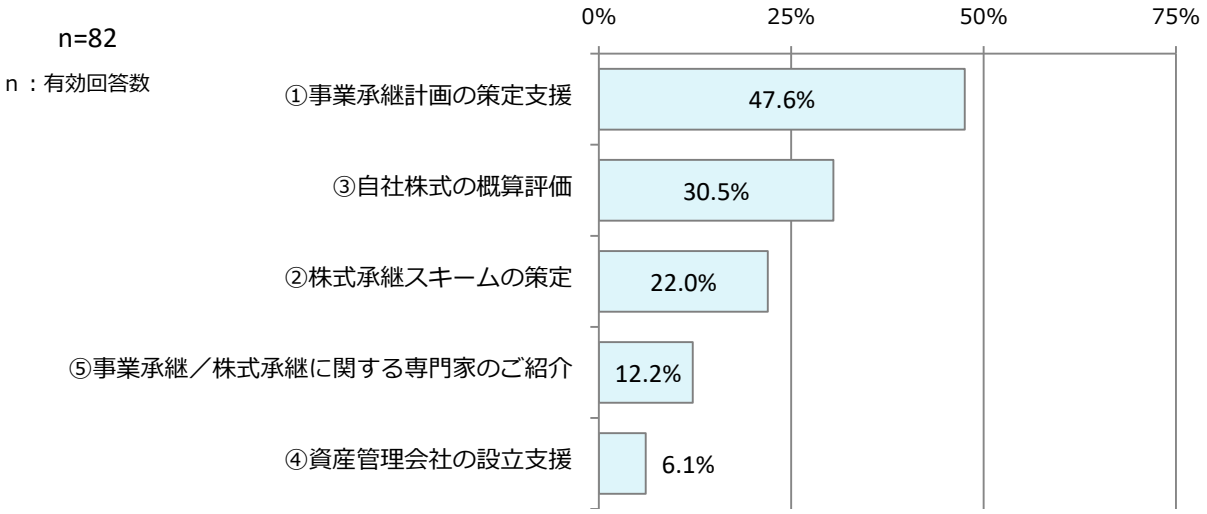


●事業承継に関する相談・サポートにについて　(複数回答)

◆「事業承継計画の策定支援」が47.6%と最も多い。

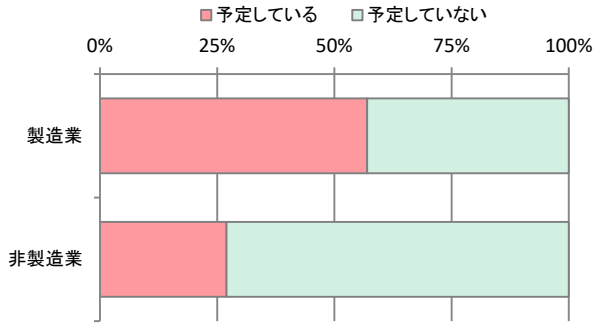
次いで「自社株式の概算評価」30.5%、「株式承継スキーム策定」22.0%の順で多い結果となった。

一方、人的な相談・サポートである「事業承継／株式承継に関する専門家のご紹介」は12.2%の結果となった。

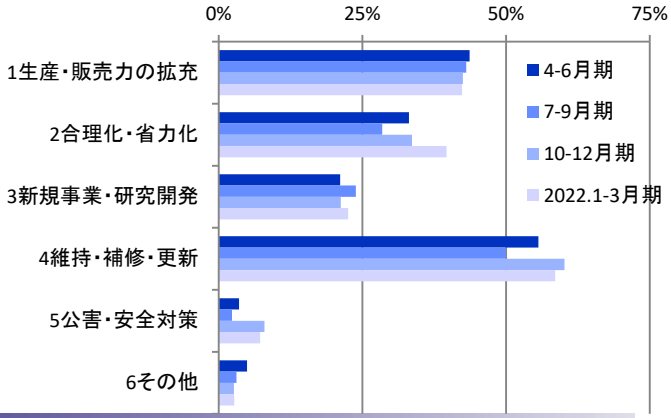


設備投資の有無

●設備投資の有無



●設備投資の目的(複数回答)



業種別分類集計①

(単位;%)

四半期別	2021年10-12月期 前期実績				2022年1-3月期 当期実績						2022年4-6月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①−③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①−③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①−③
業況	35.5	40.2	24.3	11.2	21.9	49.0	29.0	↓	▲ 7.1	▲ 1.5	21.6	52.9	25.5	↑	▲ 3.9
製造業	41.0	34.0	25.0	16.0	31.1	45.6	23.3	↓	7.8	8.0	28.1	49.4	22.5	↓	5.6
繊維	50	37.5	12.5	37.5	43.8	50.0	6.3	→	37.5	31.3	18.8	56.3	25.0	↓	▲ 6.2
機械	40.9	40.9	18.2	22.7	27.8	50.0	22.2	↓	5.6	9.1	22.2	66.7	11.1	↑	11.1
眼鏡	80.0	0.0	20.0	60.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
化学	50.0	25.0	25.0	25.0	33.3	41.7	25.0	↓	8.3	▲ 50.0	27.3	45.5	27.3	↓	0.0
その他	34.0	34.0	32.1	1.9	20.0	47.5	32.5	↓	▲ 12.5	5.7	27.5	45.0	27.5	↑	0.0
非製造業	33.3	42.7	24.0	9.3	18.2	50.5	31.4	↓	▲ 13.2	▲ 5.3	19.0	54.3	26.7	↑	▲ 7.7
建設業	21.6	52.7	25.7	▲ 4.1	15.9	54.0	30.2	↓	▲ 14.3	▲ 23.0	20.6	49.2	30.2	↑	▲ 9.6
各種サービス業	45.9	27.9	26.2	19.7	19.6	47.8	32.6	↓	▲ 13.0	11.4	21.7	58.7	19.6	↑	2.1
卸・小売業	36.8	36.8	26.4	10.4	19.8	44.0	36.3	↓	▲ 16.5	▲ 4.7	17.4	51.1	31.5	↑	▲ 14.1
情報通信業	50.0	50.0	0.0	50.0	16.7	66.7	16.7	↓	0.0	▲ 16.7	16.7	50.0	33.3	↓	▲ 16.6
不動産業	16.7	77.8	5.6	11.1	14.3	78.6	7.1	↓	7.2	11.1	14.3	85.7	0.0	↑	14.3
売上(工事)高	37.1	37.1	25.8	11.3	27.2	42.7	30.1	↓	▲ 2.9	0.5	26.2	47.6	26.2	↑	0.0
製造業	42.0	35.0	23.0	19.0	33.3	40.0	26.7	↓	6.6	4.0	30.0	52.2	17.8	↑	12.2
繊維	50.0	37.5	12.5	37.5	50.0	25.0	25.0	↓	25.0	31.3	18.8	62.5	18.8	↓	0.0
機械	36.4	45.5	18.2	18.2	22.2	61.1	16.7	↓	5.5	4.6	11.1	88.9	0.0	↑	11.1
眼鏡	80.0	0.0	20.0	60.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
化学	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	41.7	33.3	↓	▲ 8.3	▲ 50.0	41.7	41.7	16.7	↑	25.0
その他	37.7	34.0	28.3	9.4	27.5	40.0	32.5	↓	▲ 5.0	0.0	32.5	40.0	27.5	↑	5.0
非製造業	35.1	38.0	26.9	8.2	24.7	43.8	31.5	↓	▲ 6.8	▲ 0.8	24.7	45.7	29.7	↑	▲ 5.0
建設業	27.0	40.5	32.4	▲ 5.4	27.0	41.3	31.7	↑	▲ 4.7	▲ 16.2	30.2	38.1	31.7	↑	▲ 1.5
各種サービス業	43.3	31.7	25.0	18.3	17.4	50.0	32.6	↓	▲ 15.2	10.0	21.7	50.0	28.3	↑	▲ 6.6
卸・小売業	36.8	34.5	28.7	8.1	27.8	36.7	35.6	↓	▲ 7.8	3.6	23.3	43.3	33.3	↓	▲ 10.0
情報通信業	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	↓	16.6	▲ 33.3	33.3	33.3	33.3	↓	0.0
不動産業	27.8	66.7	5.6	22.2	14.3	78.6	7.1	↓	7.2	16.7	14.3	85.7	0.0	↑	14.3
収益	31.8	41.9	26.3	5.5	19.7	45.5	34.8	↓	▲ 15.1	▲ 2.7	19.4	47.1	33.5	↑	▲ 14.1
製造業	39.0	36.0	25.0	14.0	28.9	40.0	31.1	↓	▲ 2.2	5.0	21.1	52.2	26.7	↓	▲ 5.6
繊維	62.5	25.0	12.5	50.0	37.5	43.8	18.8	↓	18.7	25.0	18.8	56.3	25.0	↓	▲ 6.2
機械	31.8	45.5	22.7	9.1	38.9	38.9	22.2	↑	16.7	▲ 4.5	16.7	55.6	27.8	↓	▲ 11.1
眼鏡	80.0	0.0	20.0	60.0	75.0	0.0	25.0	↓	50.0	20.0	75.0	25.0	0.0	↑	75.0
化学	50.0	25.0	25.0	25.0	16.7	41.7	41.7	↓	▲ 25.0	▲ 50.0	16.7	58.3	25.0	↑	▲ 8.3
その他	30.2	39.6	30.2	0.0	20.0	42.5	37.5	↓	▲ 17.5	5.7	20.0	50.0	30.0	↑	▲ 10.0
非製造業	28.9	44.3	26.8	2.1	15.9	47.7	36.4	↓	▲ 20.5	▲ 5.8	18.6	45.0	36.4	↑	▲ 17.8
建設業	25.7	41.9	32.4	▲ 6.7	11.1	47.6	41.3	↓	▲ 30.2	▲ 24.3	19.0	42.9	38.1	↑	▲ 19.1
各種サービス業	34.4	41.0	24.6	9.8	19.6	45.7	34.8	↓	▲ 15.2	8.2	21.7	43.5	34.8	↑	▲ 13.1
卸・小売業	27.6	42.5	29.9	▲ 2.3	18.5	42.4	39.1	↓	▲ 20.6	▲ 1.1	18.5	42.4	39.1	→	▲ 20.6
情報通信業	50.0	50.0	0.0	50.0	16.7	83.3	0.0	↓	16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	50.0	↓	▲ 33.3
不動産業	22.2	72.2	5.6	16.6	7.7	76.9	15.4	↓	▲ 7.7	5.5	7.7	84.6	7.7	↑	0.0
受注残高	26.8	47.6	25.6	1.2	24.7	43.4	32.0	↓	▲ 7.3	▲ 6.1	23.4	52.8	23.9	↑	▲ 0.5
製造業	33.7	48.2	18.1	15.6	31.6	43.4	25.0	↓	6.6	0.0	25.0	55.3	19.7	↓	5.3
繊維	41.7	50.0	8.3	33.4	35.7	42.9	21.4	↓	14.3	16.7	21.4	64.3	14.3	↓	7.1
機械	42.1	42.1	15.8	26.3	37.5	43.8	18.8	↓	18.7	5.2	31.3	62.5	6.3	↑	25.0
眼鏡	60.0	40.0	0.0	60.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0	0.0	50.0	25.0	25.0	↓	25.0
化学	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	60.0	40.0	↓	▲ 40.0	▲ 50.0	10.0	50.0	40.0	↑	▲ 30.0
その他	25.6	51.2	23.3	2.3	28.1	43.8	28.1	↓	0.0	▲ 2.3	25.0	53.1	21.9	↑	3.1
非製造業	23.3	47.2	29.4	▲ 6.1	21.0	43.4	35.7	↓	▲ 14.7	▲ 9.2	22.5	51.4	26.1	↑	▲ 3.6
建設業	20.8	45.8	33.3	▲ 12.5	17.2	48.3	34.5	↓	▲ 17.3	▲ 11.1	24.1	51.7	24.1	↑	0.0
各種サービス業	16.7	58.3	25.0	▲ 8.3	21.1	31.6	47.4	↓	▲ 26.3	▲ 25.0	27.8	44.4	27.8	↑	0.0
卸・小売業	28.6	41.1	30.4	▲ 1.8	25.0	37.5	37.5	↓	▲ 12.5	▲ 3.6	19.6	48.2	32.1	→	▲ 12.5
情報通信業	100.0	0.0	0.0	100.0	33.3	66.7	0.0	↓	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	→	33.3
不動産業	11.1	77.8	11.1	0.0	14.3	71.4	14.3	→	0.0	11.1	14.3	85.7	0.0	↑	14.3

業種別分類集計②

（単位：%）

四半期別	2021年10-12月期 前期実績				2022年1-3月期 当期実績						2022年4-6月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①－③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①－③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①－③
製(商)品販売価格	25.9	65.4	8.7	17.2	33.9	60.1	6.0	↑	27.9	19.6	36.6	57.4	6.0	↑	30.6
製造業	21.9	69.8	8.3	13.6	34.4	61.1	4.4	↑	30.0	20.9	44.4	51.1	4.4	↑	40.0
繊維	6.3	93.8	0.0	6.3	18.8	75.0	6.3	↑	12.5	18.8	37.5	56.3	6.3	↑	31.2
機械	19.0	71.4	9.5	9.5	38.9	55.6	5.6	↑	33.3	9.5	33.3	55.6	11.1	↓	22.2
眼鏡	40.0	40.0	20.0	20.0	50.0	50.0	0.0	↑	50.0	20.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0
化学	50.0	25.0	25.0	25.0	41.7	58.3	0.0	↑	41.7	▲ 25.0	58.3	41.7	0.0	↑	58.3
その他	24.0	68.0	8.0	16.0	35.0	60.0	5.0	↑	30.0	30.0	47.5	50.0	2.5	↑	45.0
非製造業	27.6	63.6	8.9	18.7	33.7	59.6	6.7	↑	27.0	19.1	33.2	60.1	6.7	↓	26.5
建設業	35.3	51.5	13.2	22.1	29.8	61.4	8.8	↓	21.0	19.2	29.8	61.4	8.8	→	21.0
各種サービス業	14.0	84.0	2.0	12.0	21.4	76.2	2.4	↑	19.0	6.0	19.0	73.8	7.1	↓	11.9
卸・小売業	34.9	54.7	10.5	24.4	48.4	44.0	7.7	↑	40.7	30.2	47.3	46.2	6.6	→	40.7
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	6.3	87.5	6.3	0.0	0.0	91.7	8.3	↓	▲ 8.3	6.3	8.3	91.7	0.0	↑	8.3
原材料(仕入・資材)価格	65.7	32.7	1.5	64.2	71.1	28.2	0.7	↑	70.4	61.4	71.1	28.6	0.3	↑	70.8
製造業	72.7	27.3	0.0	72.7	78.9	21.1	0.0	↑	78.9	67.7	81.1	18.9	0.0	↑	81.1
繊維	56.3	43.8	0.0	56.3	75.0	25.0	0.0	↑	75.0	56.3	87.5	12.5	0.0	↑	87.5
機械	81.0	19.0	0.0	81.0	77.8	22.2	0.0	↓	77.8	76.2	72.2	27.8	0.0	↓	72.2
眼鏡	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	→	100.0
化学	100.0	0.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	↓	75.0	100.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0
その他	69.8	30.2	0.0	69.8	80.0	20.0	0.0	↑	80.0	62.3	75.0	25.0	0.0	↓	75.0
非製造業	62.7	35.1	2.2	60.5	67.8	31.3	0.9	↑	66.9	58.6	66.8	32.7	0.5	↓	66.3
建設業	79.5	20.5	0.0	79.5	77.0	23.0	0.0	↓	77.0	72.6	82.0	18.0	0.0	↑	82.0
各種サービス業	61.5	38.5	0.0	61.5	54.5	45.5	0.0	↓	54.5	55.8	52.3	45.5	2.3	↓	50.0
卸・小売業	57.6	36.5	5.9	51.7	76.7	21.1	2.2	↑	74.5	53.6	71.1	28.9	0.0	↓	71.1
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	20.0	16.7	83.3	0.0	↑	16.7
不動産業	30.8	69.2	0.0	30.8	30.0	70.0	0.0	↓	30.0	38.5	30.0	70.0	0.0	→	30.0
在庫	16.9	67.5	15.7	1.2	21.8	63.7	14.5	↑	7.3	▲ 6.3	12.9	72.2	14.9	↓	▲ 2.0
製造業	19.4	60.2	20.4	▲ 1.0	22.9	63.9	13.3	↑	9.6	▲ 4.3	12.0	75.9	12.0	↓	0.0
繊維	18.8	50.0	31.3	▲ 12.5	37.5	37.5	25.0	↑	12.5	0.0	31.3	68.8	0.0	↑	31.3
機械	33.3	61.1	5.6	27.7	26.7	66.7	6.7	↓	20.0	0.0	0.0	93.3	6.7	↓	▲ 6.7
眼鏡	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	66.7	33.3	↑	▲ 33.3	▲ 25.0	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
化学	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0	33.3	66.7	0.0	↑	33.3	▲ 50.0	8.3	83.3	8.3	↓	0.0
その他	15.7	66.7	17.6	▲ 1.9	13.5	73.0	13.5	↑	0.0	▲ 2.0	10.8	67.6	21.6	↓	▲ 10.8
非製造業	15.4	71.6	13.0	2.4	21.2	63.6	15.2	↑	6.0	▲ 7.5	13.3	70.3	16.4	↓	▲ 3.1
建設業	13.0	76.1	10.9	2.1	19.0	66.7	14.3	↑	4.7	▲ 8.7	19.0	64.3	16.7	↓	2.3
各種サービス業	10.0	80.0	10.0	0.0	12.5	79.2	8.3	↑	4.2	▲ 5.0	8.3	83.3	8.3	↓	0.0
卸・小売業	18.8	67.1	14.1	4.7	23.9	58.0	18.2	↑	5.7	▲ 8.3	11.4	68.2	20.5	↓	▲ 9.1
情報通信業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	▲ 50.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
不動産業	11.1	77.8	11.1	0.0	28.6	57.1	14.3	↑	14.3	11.1	28.6	71.4	0.0	↑	28.6
雇用者	18.1	61.2	20.7	▲ 2.6	15.9	66.6	17.5	↑	▲ 1.6	9.1	27.3	63.3	9.4	↑	17.9
製造業	18.2	53.5	28.3	▲ 10.1	20.0	55.6	24.4	↑	▲ 4.4	4.0	35.6	51.1	13.3	↑	22.3
繊維	0.0	62.5	37.5	▲ 37.5	18.8	56.3	25.0	↑	▲ 6.2	0.0	18.8	62.5	18.8	↑	0.0
機械	27.3	45.5	27.3	0.0	33.3	44.4	22.2	↑	11.1	13.7	61.1	38.9	0.0	↑	61.1
眼鏡	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	→	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	↑	100.0
化学	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	0.0	58.3	41.7	↓	▲ 41.7	▲ 25.0	33.3	50.0	16.7	↑	16.6
その他	20.8	50.9	28.3	▲ 7.5	20.0	57.5	22.5	↑	▲ 2.5	3.8	25.0	57.5	17.5	↑	7.5
非製造業	18.0	64.3	17.6	0.4	14.2	71.1	14.7	↓	▲ 0.5	11.1	23.9	68.3	7.8	↑	16.1
建設業	24.3	59.5	16.2	8.1	14.3	68.3	17.5	↓	▲ 3.2	12.1	17.5	79.4	3.2	↑	14.3
各種サービス業	14.8	63.9	21.3	▲ 6.5	15.6	66.7	17.8	↑	▲ 2.2	11.6	24.4	64.4	11.1	↑	13.3
卸・小売業	14.0	67.4	18.6	▲ 4.6	13.2	74.7	12.1	↑	1.1	8.0	26.4	62.6	11.0	↑	15.4
情報通信業	40.0	40.0	20.0	20.0	33.3	33.3	33.3	↓	0.0	20.0	66.7	33.3	0.0	↑	66.7
不動産業	16.7	77.8	5.6	11.1	7.7	92.3	0.0	↓	7.7	16.7	15.4	84.6	0.0	↑	15.4
資金繰り	15.7	77.1	7.2	8.5	12.3	79.0	8.7	↓	3.6	4.7	13.2	78.1	8.7	↑	4.5
製造業	18.0	73.0	9.0	9.0	11.1	83.3	5.6	↓	5.5	4.0	12.2	82.2	5.6	↑	6.6
繊維	25.0	75.0	0.0	25.0	6.3	87.5	6.3	↓	0.0	18.8	6.3	87.5	6.3	→	0.0
機械	13.6	77.3	9.1	4.5	22.2	72.2	5.6	↑	16.6	▲ 4.5	16.7	72.2	11.1	↓	5.6
眼鏡	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0	40.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0
化学	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	0.0	100.0	0.0	↑	0.0	▲ 25.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
その他	17.0	71.7	11.3	5.7	12.5	82.5	5.0	↑	7.5	1.9	15.0	80.0	5.0	↑	10.0
非製造業	14.7	78.8	6.5	8.2	12.7	77.3	10.0	↓	2.7	4.9	13.6	76.4	10.0	↑	3.6
建設業	20.3	73.0	6.8	13.5	11.1	77.8	11.1	↓	0.0	9.4	14.3	71.4	14.3	→	0.0
各種サービス業	19.7	72.1	8.2	11.5	13.3	73.3	13.3	↓	0.0	6.6	15.6	75.6	8.9	↑	6.7
卸・小売業	8.0	85.1	6.9	1.1	16.3	73.9	9.8	↑	6.5	0.0	15.2	75.0	9.8	↓	5.4
情報通信業	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0

地域別分類集計

（単位：%）

四半期別	2021年10-12月期 前期実績				2022年1-3月期 今期実績						2022年4-6月期 来期見通し				
状況 / 項目	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①－③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比	D.I. ①－③	前回調査時今期見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比	D.I. ①－③
業況	35.5	40.2	24.3	11.2	21.9	49.0	29.0	↓	▲ 7.1	▲ 1.5	21.6	52.9	25.5	↑	▲ 3.9
福井地区	36.8	41.9	21.3	15.5	22.5	45.7	31.8	↓	▲ 9.3	▲ 2.0	17.8	51.9	30.2	↓	▲ 12.4
坂井地区	41.2	41.2	17.6	23.6	24.3	64.9	10.8	↓	13.5	11.8	16.2	62.2	21.6	↓	▲ 5.4
丹南地区	40.0	36.5	23.5	16.5	27.8	45.8	26.4	↓	1.4	▲ 1.2	30.6	51.4	18.1	↑	12.5
奥越地区	50.0	50.0	0.0	50.0	11.1	66.7	22.2	↓	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	55.6	33.3	↓	▲ 22.2
嶺南地区	22.7	39.4	37.9	▲ 15.2	14.3	47.6	38.1	↓	▲ 23.8	▲ 4.7	23.8	50.8	25.4	↑	▲ 1.6
売上（工事）高	37.1	37.1	25.8	11.3	27.2	42.7	30.1	↓	▲ 2.9	0.5	26.2	47.6	26.2	↑	0.0
福井地区	38.3	37.7	24.0	14.3	28.5	43.1	28.5	↓	0.0	▲ 3.9	23.1	50.8	26.2	↓	▲ 3.1
坂井地区	44.1	38.2	17.6	26.5	29.7	54.1	16.2	↓	13.5	8.8	24.3	56.8	18.9	↓	5.4
丹南地区	42.4	32.9	24.7	17.7	29.6	42.3	28.2	↓	1.4	3.6	32.4	46.5	21.1	↑	11.3
奥越地区	50.0	50.0	0.0	50.0	22.2	44.4	33.3	↓	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	55.6	33.3	↓	▲ 22.2
嶺南地区	22.7	39.4	37.9	▲ 15.2	21.0	35.5	43.5	↓	▲ 22.5	6.3	29.0	35.5	35.5	↑	▲ 6.5
収益	31.8	41.9	26.3	5.5	19.7	45.5	34.8	↓	▲ 15.1	▲ 2.7	19.4	47.1	33.5	↑	▲ 14.1
福井地区	34.8	41.3	23.9	10.9	24.0	43.4	32.6	↓	▲ 8.6	▲ 3.3	17.1	46.5	36.4	↓	▲ 19.3
坂井地区	38.2	41.2	20.6	17.6	16.2	56.8	27.0	↓	▲ 10.8	5.9	18.9	54.1	27.0	↑	▲ 8.1
丹南地区	35.3	37.6	27.1	8.2	26.4	37.5	36.1	↓	▲ 9.7	▲ 1.2	27.8	45.8	26.4	↑	1.4
奥越地区	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3	▲ 33.3	11.1	55.6	33.3	↑	▲ 22.2
嶺南地区	15.2	48.5	36.4	▲ 21.2	7.9	49.2	42.9	↓	▲ 35.0	▲ 4.7	15.9	44.4	39.7	↑	▲ 23.8
受注残高	26.8	47.6	25.6	1.2	24.7	43.4	32.0	↓	▲ 7.3	▲ 6.1	23.4	52.8	23.9	↑	▲ 0.5
福井地区	30.6	46.3	23.1	7.5	26.4	44.0	29.7	↓	▲ 3.3	▲ 7.4	17.6	56.0	26.4	↓	▲ 8.8
坂井地区	31.8	54.5	13.6	18.2	26.1	43.5	30.4	↓	▲ 4.3	4.6	30.4	43.5	26.1	↑	4.3
丹南地区	27.7	50.8	21.5	6.2	30.5	39.0	30.5	↓	0.0	1.6	34.5	48.3	17.2	↑	17.3
奥越地区	25.0	75.0	0.0	25.0	16.7	50.0	33.3	↓	▲ 16.6	0.0	0.0	66.7	33.3	↓	▲ 33.3
嶺南地区	14.9	40.4	44.7	▲ 29.8	12.5	47.5	40.0	↑	▲ 27.5	▲ 19.1	20.0	55.0	25.0	↑	▲ 5.0
製（商）品販売価格	25.9	65.4	8.7	17.2	33.9	60.1	6.0	↑	27.9	19.6	36.6	57.4	6.0	↑	30.6
福井地区	26.1	64.1	9.9	16.2	37.6	53.6	8.8	↑	28.8	19.0	37.6	55.2	7.2	↑	30.4
坂井地区	12.9	83.9	3.2	9.7	37.1	62.9	0.0	↑	37.1	3.2	34.3	65.7	0.0	↓	34.3
丹南地区	35.0	55.0	10.0	25.0	37.1	55.7	7.1	↑	30.0	27.5	41.4	50.0	8.6	↑	32.8
奥越地区	33.3	66.7	0.0	33.3	14.3	85.7	0.0	↓	14.3	0.0	14.3	85.7	0.0	→	14.3
嶺南地区	19.4	72.6	8.1	11.3	23.0	73.8	3.3	↑	19.7	21.0	32.8	62.3	4.9	↑	27.9
原材料（仕入・資材）価格	65.7	32.7	1.5	64.2	71.1	28.2	0.7	↑	70.4	61.4	71.1	28.6	0.3	↑	70.8
福井地区	63.6	35.0	1.4	62.2	69.4	29.0	1.6	↑	67.8	63.6	69.4	29.8	0.8	↑	68.6
坂井地区	45.2	54.8	0.0	45.2	66.7	33.3	0.0	↑	66.7	48.4	63.9	36.1	0.0	↓	63.9
丹南地区	79.8	19.0	1.2	78.6	78.9	21.1	0.0	↑	78.9	63.1	73.2	26.8	0.0	↓	73.2
奥越地区	50.0	50.0	0.0	50.0	62.5	37.5	0.0	↑	62.5	33.3	62.5	37.5	0.0	→	62.5
嶺南地区	63.5	33.3	3.2	60.3	69.4	30.6	0.0	↑	69.4	62.9	77.4	22.6	0.0	↑	77.4
在庫	16.9	67.5	15.7	1.2	21.8	63.7	14.5	↑	7.3	▲ 6.3	12.9	72.2	14.9	↓	▲ 2.0
福井地区	21.2	64.6	14.2	7.0	23.8	59.0	17.1	↓	6.7	▲ 3.5	16.2	73.3	10.5	↓	5.7
坂井地区	30.4	56.5	13.0	17.4	30.8	53.8	15.4	↓	15.4	4.4	19.2	69.2	11.5	↓	7.7
丹南地区	11.4	70.0	18.6	▲ 7.2	19.7	72.1	8.2	↑	11.5	▲ 10.1	9.8	70.5	19.7	↓	▲ 9.9
奥越地区	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
嶺南地区	8.7	73.9	17.4	▲ 8.7	18.0	64.0	18.0	↑	0.0	▲ 13.0	8.0	70.0	22.0	↓	▲ 14.0
雇用者	18.1	61.2	20.7	▲ 2.6	15.9	66.6	17.5	↑	▲ 1.6	9.1	27.3	63.3	9.4	↑	17.9
福井地区	14.5	64.5	21.1	▲ 6.6	17.1	66.7	16.3	↑	0.8	11.7	32.6	60.5	7.0	↑	25.6
坂井地区	20.6	55.9	23.5	▲ 2.9	16.7	58.3	25.0	↓	▲ 8.3	17.7	22.2	63.9	13.9	↑	8.3
丹南地区	20.0	58.8	21.2	▲ 1.2	13.9	69.4	16.7	↓	▲ 2.8	2.3	26.4	62.5	11.1	↑	15.3
奥越地区	0.0	83.3	16.7	▲ 16.7	11.1	77.8	11.1	↑	0.0	▲ 33.3	11.1	77.8	11.1	→	0.0
嶺南地区	24.2	57.6	18.2	6.0	16.1	66.1	17.7	↓	▲ 1.6	10.8	22.6	67.7	9.7	↑	12.9
資金繰り	15.7	77.1	7.2	8.5	12.3	79.0	8.7	↓	3.6	4.7	13.2	78.1	8.7	↑	4.5
福井地区	16.8	77.4	5.8	11.0	15.4	76.9	7.7	↓	7.7	9.0	16.2	75.4	8.5	→	7.7
坂井地区	27.3	69.7	3.0	24.3	10.8	83.8	5.4	↓	5.4	12.1	10.8	86.5	2.7	↑	8.1
丹南地区	11.8	77.6	10.6	1.2	12.5	79.2	8.3	↑	4.2	▲ 2.4	12.5	77.8	9.7	↓	2.8
奥越地区	33.3	66.7	0.0	33.3	11.1	77.8	11.1	↓	0.0	16.7	11.1	77.8	11.1	→	0.0
嶺南地区	10.6	80.3	9.1	1.5	6.5	80.6	12.9	↓	▲ 6.4	▲ 1.5	9.7	79.0	11.3	↑	▲ 1.6

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ①

業種	自由意見
製造業	海外由来の部品の調達に苦労している。値上げ（原材料費高騰に対する）は２１年９月に続き２２年４月、２回で平均10%アップは顧客は受入方向で話はついた。
製造業	経費面の値上げが徐々に収益を圧迫しつつある。
製造業	物価の急上昇があまりにも極端で価格転嫁が追い付かず収益を圧迫している。特に建物や商流が長い商品は大手だけが儲かっていると強く感じる状況。
製造業	原材料の急激な高騰が懸念。
製造業	コロナがおさまるまで悪化が続くと思います。
製造業	昨年７月頃より注文数が増加傾向にある。その要因としてアメリカでの日本製フレームの売れ行きが好調であるからだと思う。弊社の売上も上昇しているが、まだコロナ前には戻っていない。その原因として①部品や材料メーカーらの仕入の遅延②弊社の人員不足　材料高騰により仕入価格が値上がりしている。我々製造メーカーも納品単価の値上げの必要に迫られている。
製造業	コロナの影響により飲食店のお客の減少が多い。
製造業	原材料の値上げ交渉が非常に多い。
製造業	原材料、燃料、商材の値上げが経験したことのない度合いでおこっており、価格転嫁がきちんとできるか否かが業況の大きなカギになってくる。インフレ圧力はどんどん高まっており高く売って賃金も上げていく努力をしていく必要があると感じています。
製造業	ものづくりの私どもはその時代に合わせて商品開発をしています。今では日本でも特別な事業者として学生、銀行、店長、デザイナー、一般者など色々な方々から研修や見学を受け入れている。
製造業	ウクライナ戦争によるロシア制裁の影響がどのようにでてくるかが非常に気になっています。その他原材料の高騰がとまらず大きな経営課題となっています。
製造業	ウクライナ問題から派生する原油・ＬＰＧ原材料および世界・日本経済の不安定さが増加する予想で当社のような住宅関連製品を生産する業種では、マイナスの影響が出ると想定され危惧するものである。
製造業	製品を作るためのＡ重油費用がどんどん高くなり厳しい。
製造業	新型コロナウィルスのオミクロン株による新規感染者等で地域によりまん延防止等重点措置が引き続き行われている状況において、外食や観光産業に影響を及ぼしていることに憂慮される。また世界経済では以前原油高等による原材料高騰やインフレ基調が続き、更にロシアによるウクライナ侵攻によるヨーロッパ情勢不安やエネルギー供給不安による原燃価格高騰が憂慮される。今後の影響を見据えた製品価格等に反映させて当社業況に繋げていきたい。
製造業	海外を中心にコロナの影響はこれまで軽微だったが、オミクロンで社員の陽性者も発生し、安定した製造環境に不安がある。営業・販売的にはウクライナ侵攻が確実に影響するので、今後の方がより懸念しています。
製造業	コロナ、ロシア・ウクライナの戦争により影響を懸念している。
建設業	材料によっては納期がかかる物もあり、注文を頂いてもすぐ工事にかかれないケースが増えてきています。プラス材料の価格が上がり続けてます（特に電線）いつ頃落ち着くのか不安です。
建設業	現在、来期以降の受注も決まってきており、２０２３年６月期は増収増益が見込まれると考える。社員平均年齢も高く労働力の確保が今後の課題である。
建設業	コロナの影響で仕事の稼働が特に心配です。管理者は勿論常に従業員の健康に充分注意して今年も家を建てていきたいと思っておりますが！！お客様の動向が心配で仕事に従事しております。
建設業	コロナ後の公共事業費の減少が見込まれる。
建設業	円の価値低下と物価上昇の著しさ。
建設業	仕入価格が上昇するが、それに見合って、販売価格が上がらないのが問題。
建設業	大型案件が多すぎて資金が辛い。案件が重なる
建設業	コロナ禍が長期化している中で、いつ収束するか今後の見通しがたて難い。しかし幸い当社にとっては駅前再開発の工事も受注した。当面は受注工事の消化で忙しくなると期待。問題はしかし再開発終了後の福井だ！少子高齢化の下建築業界の展望は立てにくい。
建設業	当社はコロナの影響はほとんどないが、コロナ収束後の動向が大変不安である。

最近の業況や景気動向に関する主な意見　②

業種	自由意見
卸・小売業	ドラッグストアーの新規出店が止まらないため食品スーパーは苦戦を強いられている。
卸・小売業	業績は回復したかに見えますが、鋼材価格上昇に起因したものであり、会社全体の営業努力によるものとはいい難い。体力のある間に地力をつけていく必要があると感じている。
卸・小売業	固定費のダウンに着手しているが、現状はかなり厳しく、利益増が望めない中、経営が厳しいのが現状です。
卸・小売業	コロナ、ロシア・ウクライナ問題等で今後の戦略が難しくなっている。
卸・小売業	１月から景気が悪い。
卸・小売業	県内の取引先は電子部品がやや順調であるが全体的に低迷している。コロナ禍とロシアとウクライナの戦の影響が今後どの程度出てくるかが心配である。
卸・小売業	コロナ禍が長引いており、景気が悪いことが普通になってしまっている。今後の見通しが分からず不安な状況。
卸・小売業	10月～12月は上向き期待でしたが、1月～3月は変わらず4月～6月は不透明で下向きが予想されます。
卸・小売業	コロナの状況により変化する。正直見通しが立たない。例えば春～夏にかけてのイベントが実施されるのか・・・とか。
卸・小売業	新車の長納期状況が続いています。
卸・小売業	業況は変わりなく悪くはないです。ただ、いろんな資材の価格が上がってきており、包装資材ですと全ての仕入れ品が上がっております。今後どこまで価格転嫁がうまく進むか不透明です。
卸・小売業	セメント・混合材の値上げもありますが、生コン価格の転嫁にはそう簡単には出来ないのが現状で、生コン出荷の激減から供給体制の構築と価格の維持に努め組合の共存共栄を計りたい。
卸・小売業	仕入納期の遅延による販売機会のロスが懸念される。世界情勢により、今後増々不透明感が強くなって行く。
各種サービス業	コロナの動向しだいで売上が５倍の上下をくり返し、やってられない。とくにこの1～3月は最悪です。（大体３ヵ月周期で上下している）
各種サービス業	一旦悪くなってから良くなるのではないか。
各種サービス業	コロナが世界的に止まってきたが、ウクライナの影響が心配！景気動向は良くなるが材料や資材・燃料の高騰で色々な面で日本の経済から飲食業に影響が考えられる。確かな物を売り、安売りは禁物！
各種サービス業	燃料費の高騰が心配。
各種サービス業	前期（10月～12月）は感染者数も落ち着いており、秋の行楽シーズンとも重なって旅行、バス、タクシー共にコロナの7～8割程度の動きがありましたが、年末からのオミクロンにより１月以降はパッタリと人流も止まってしまった感じで各部門共に売上が低迷しております。また燃料費の高騰も重なり苦慮しております。しかしながら、３月に入り全国的にも県内でも感染者のさらなる増加傾向にはないような感じで今後春の訪れと共に第六波の収束が見えてくれば、各部門共に良い方向に向かう事を期待しております。また現在建設中の福井営業所は４月スタートの予定で進めております。
各種サービス業	コロナの影響が続いている、３回目のワクチン接種も社員の99%が終え治療薬もそろそろ承認されるのではと思い願っております。ワクチン＋薬でも行動規制はいつまで求められるのでしょうか。もう他の国々と同じ「国」になってほしい。
各種サービス業	コロナ渦の長期化の影響大。契約輸送は常に安定しているが、貸切部分の落込みが業況好転しない最大要因。
各種サービス業	まん延防止が出ていなくても、各企業内で規制し外出を控える傾向が出ている。夜などは全くひどいですね。
各種サービス業	新型コロナの今後の状況に応じて売上増減が引き続き見込まれる。これ以上対策困難と思う。
情報通信業	仕入先からの値上げ要請増
不動産業	業態のシフト時流を読む大切さ　トライ＆エラーの経験値が資産となる。